

大分県森林環境税報告書～第4期の検証と今後のあり方～（概要版）

1. 大分県森林環境税の制度

(1) 税率

- ・個人：年額 500 円
- ・法人：法人県民税（均等割額）の 5%（1,000 円～40,000 円）

(2) 税収

- ・単年度：約 3 億 4 千万円
- ・5 年間：16 億 9 千 9 百万円（令和 3～7 年度（見込））
（4 年間：13 億 5 千 5 百万円（令和 3～6 年度（見込）））
- ※全国の導入状況 37 府県 1 市が導入

2. 第4期大分県森林環境税活用事業の検証

大分県森林環境税を活用した取組（R3～6） 【事業費計 1,295,185 千円】

森林環境の保全と森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成のため、3つの柱に基づき、幅広く事業を展開した。

I 県民の暮らしを守る安全・安心の森林づくり 【事業費 563,087 千円】（43%）
・流木被害を防ぐ河川沿いの人工林整備 145 ha（R3～6）
・シカによる林業被害額が減少 42 百万円（H20）→ 14 百万円（R6）

II 森林資源の循環利用による地域活性化 【事業費 518,541 千円】（40%）
・低コスト造林の実施 254ha（H22）→ 1,149ha（R6）
・竹材・タケノコ生産林の整備 13ha（R3～6）

III 森林を守り親しみ、次世代につなぐ取組 【事業費 213,557 千円】（17%）
・森林づくりボランティア参加者数 49,405 人（R3～6）
・森林・林業デジタル副読本の配布児童数 56,751 人（R4～6）

3. 大分県森林環境税に対する県民の意識（R6.8 アンケート調査結果）

- ・認知度 ①個人アンケート 知っている 22% ②企業アンケート 知っている 43%
- ・税額の妥当性 ①個人アンケート 妥当 72% ②企業アンケート 妥当 76%
- ・継続の賛成意見 ①個人アンケート 賛成 76% ②企業アンケート 賛成 78%
- ・「災害に強い森林づくり」「荒廃森林の整備」「再造林による森林再生」への関心が高い

4. 大分県森林環境税を活用して取組むべき森林・林業の課題

- (1) 安全・安心な暮らしを守る森づくりの推進
- (2) 鳥獣被害対策の推進
- (3) 健全な人工林資源の循環と森林の二酸化炭素吸収量の向上
- (4) 森林・林業教育の推進
- (5) 森づくりに関わる意識の醸成

5. 第5期大分県森林環境税のあり方について

(1) 大分県森林環境税の継続について

- ・森林環境税による取組を継続し、税率・税額は維持
- ・国の森林環境税の名称と混同を防ぐため、名称の検討が必要

(2) 第5期大分県森林環境税の取組について

大テーマ みんなで育み次代へつなぐ おおいたの森づくり

I 安全・安心な暮らしと豊かな自然を守る森づくり

- (1) 身近な暮らしを守る森づくり
林地崩壊を防止する森林整備、生活インフラ付近の危険木の伐採
- (2) 鳥獣被害対策の推進
シカ等による被害対策推進
- (3) 森・川・海の豊かな自然を守る取組の推進
森から海に至る流域全体の保全につながる取組推進

II 森林資源を活かし、持続可能で元気な森づくり

- (1) 健全な人工林資源の循環と森林の二酸化炭素吸収量の向上
早生樹等による再造林推進、花粉発生源対策、カーボンニュートラルの取組推進
- (2) 森林資源の利活用推進
竹材の利活用推進、県公共施設等の木造化推進

III みんなで育む森を、未来につなぐ人づくり

- (1) 森に学ぶ森林・林業教育の推進
森林・林業教育推進
- (2) みんなで森づくりに関わる意識の醸成
森林ボランティア等の森づくり活動支援
- (3) 森に親しみ、理解を広げる情報発信
大分県森林環境税の取組等の情報発信・ネットワーク構築